

News Release



総務部(広報担当)
大津市晴嵐二丁目7番1号 〒520-8639
Tel. 077(537)1861(直)

2008年11月25日

ISO/IEC17025 認定分析(ガラス中有害物質の分析)の社外向け業務を開始

～国内の民間企業としては初めて～

日本電気硝子株式会社(本社:大津市 社長:井筒雄三)は、2008年10月より国内の民間企業としては初めて、社外向けのISO/IEC17025に則ったガラス中の有害物質の分析業務を開始しました。

ISO/IEC17025は、分析を行う試験所の技術的能力、試験結果の信頼性を保証することを目的とした国際規格です。当社は、特殊ガラスメーカーとして培ったガラス研究の経験・知識を元に、客観性の高い分析方法を確立し、2006年5月にISO/IEC17025の認定を取得しました。RoHS指令に関する有害物質分析を行うISO/IEC17025認定試験所のほとんどは金属や有機材料を対象としたものです。それに対してガラスの分析は他材料に比べて難しくJISのような共通の規格がないため、ガラスを対象とした試験所は、国内では財団法人化学物質評価研究機構と当社の2ヶ所のみです。

当社が取得した認定内容はガラス中の有害物質(Pb(鉛)、Cr(クロム)、Cd(カドミウム))の分析方法です。Pb、Cr、Cdは、欧州有害物質規制の1つであるRoHS指令対象物質の中でガラスに含有される可能性のある物質です。この指令が施行された2006年7月以降、EU諸国内では当該物質の規制値を超えた電気・電子機器を販売できなくなりました。材料メーカーには含有量を分析して非含有証明をユーザーに提出することが求められています。

当社において分析を担当する部門は技術部化学分析課で、これまでも社内での分析で実績を重ね、この度、社外からの分析依頼も受ける体制を確立しました。

(リリース内容に関するお問合せ先)

日本電気硝子株式会社 総務部広報担当(松田) 電話:077-537-1861

(化学分析業務に関するお問合せ先)

日本電気硝子株式会社 技術部化学分析課(田中) 電話:077-537-8993